

東北電カグループ中長期ビジョン

よりそう*next*

東北発のスマート社会実現を目指して

# 2021年度 東北電カグループ 中期計画の力点

## ポストコロナの新たな時代を見据え、東北発のスマート社会実現に向けた取り組みを加速させます

---

東北電力グループを巡る事業環境は、電力小売全面自由化による競争の激化や再生可能エネルギーの導入拡大等に伴う需給構造の変化により、大きく変化しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大が社会・経済活動に大きな影響を与え、電力需要が減少しているほか、小売単価や卸電力市場価格の低下などにも直面し、厳しさは一層増しています。こうした事業環境を勝ち抜くためには、電力の安定供給を前提に、収益確保に向けた事業全般にわたる抜本的取り組みが不可欠です。

一方、新型コロナウイルス感染拡大は、私たちの生活様式や働き方、価値観などに大きな変化を与えています。特に、「デジタル化」「分散化」「脱炭素化」の動きは、デジタル技術を活用したテレワークの定着や、都市への一極集中の分散、さらにはデジタル化や分散化と親和性の高い再生可能エネルギーの普及拡大等の形で、今後、一層加速していくと考えられ、とりわけ「脱炭素化」については、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた機運が高まっています。東北電力グループでは、人口減少が進み、様々な社会課題の顕在化が想定される東北6県と新潟県に事業基盤を置く“私たちだからこそ創造・提供できる価値”を磨き上げるべく、2020年2月に東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」を策定しており、社会が大きくかつ急速に変化する中、これを変革の契機と捉えながら様々な社会課題の解決を図り、“ポストコロナの新たな時代の東北発のスマート社会”を実現していきます。

このような認識のもと、「2021年度東北電力グループ中期計画の力点」では、「よりそうnext」実現に向けた“取り組みの加速”に主眼を置き、早期の成果創出に向けた具体的なアクションを取りまとめました。

2021年は、東日本大震災から10年の節目であるとともに、東北電力グループは創立から70周年を迎えます。「よりそうnext」の実現に向けて、創立以来の東北6県・新潟県への思いを新たな時代に適合させながら見つめ直し、東北電力グループの総力を結集して、新たな時代を切り拓いてまいります。

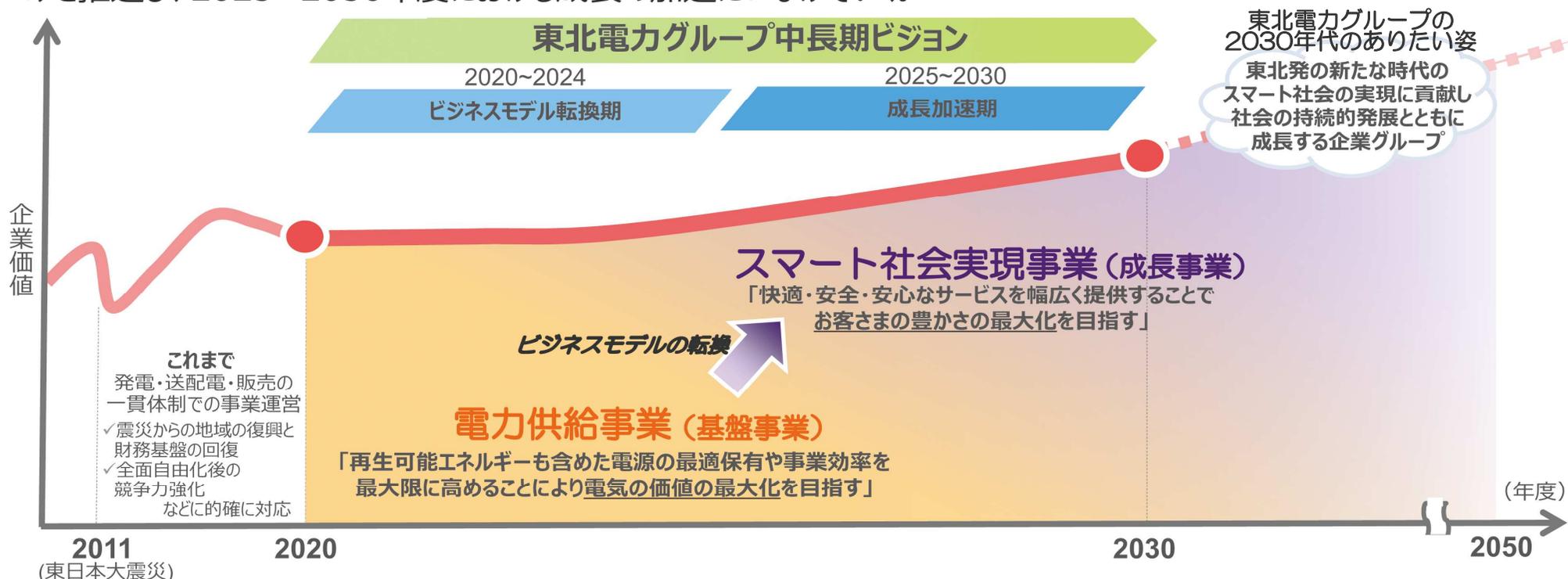
# 目次

---

- 1. 東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の全体像 … p3
- 2. 事業環境変化 ～ ポストコロナの新たな時代 … p4
- 3. 2021年度東北電力グループ中期計画の力点 … p5
  - 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化 … p7
  - 力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦 … p13
  - 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化 … p18
- 4. 財務目標達成に向けた取り組みについて … p23

# 1. 東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」～ 東北電力グループのありたい姿

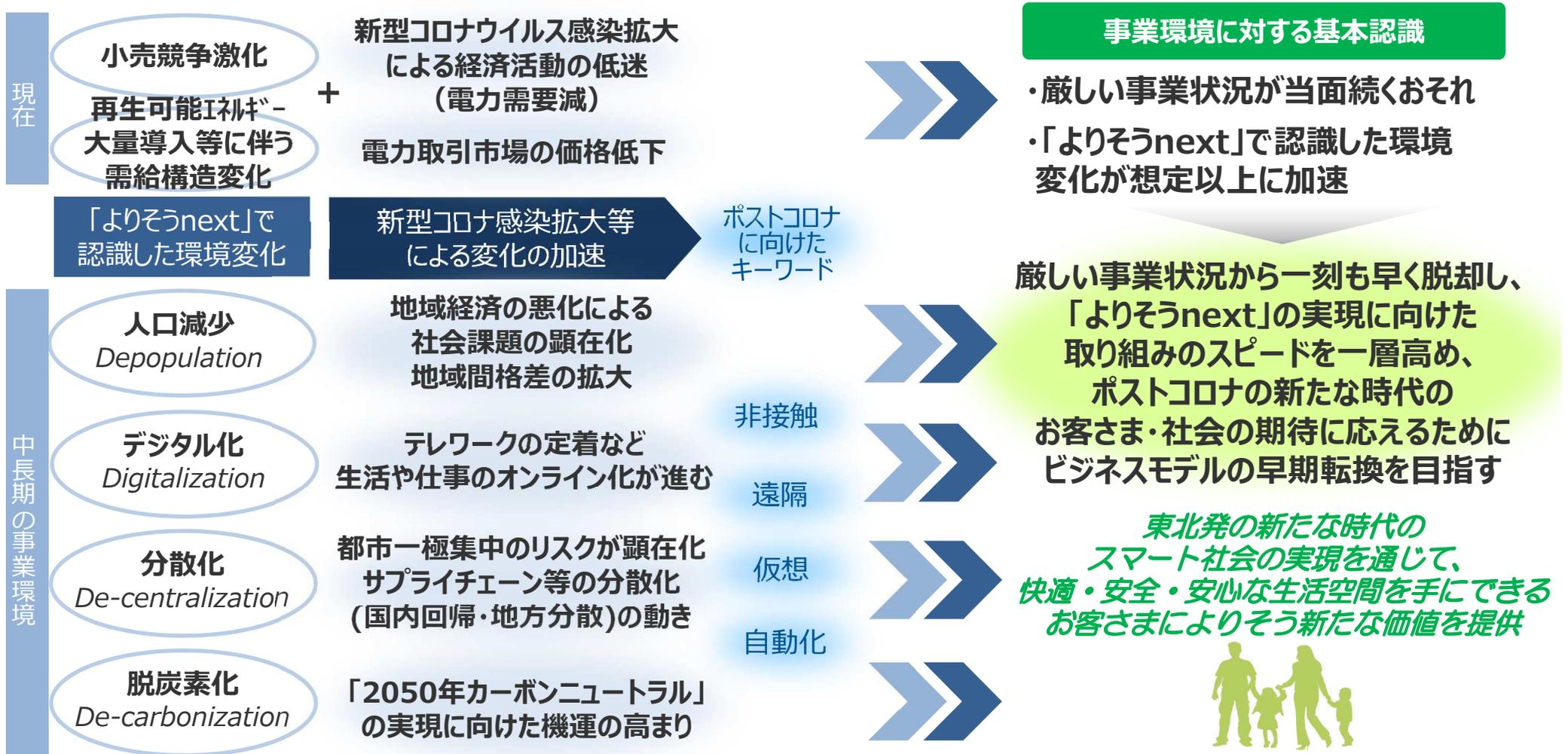
- 東北電力グループを取り巻く事業環境は、社会や電力需給構造の大きな転換点を迎えており、自らが変革を推し進め、主体的に挑戦していかなければ、今後も存在意義を果たし続け社会とともに持続的成長を実現することは困難となる。
- この強い危機感のもと、当社は、**2020年2月に、東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」を公表**。2030年代に「**東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、社会の持続的発展とともに成長する企業グループ**」の実現を目指し、基盤事業の「**電力供給事業**」の構造改革を通じた**徹底的な競争力強化**により安定的に収益を確保するとともに、成長事業の「**スマート社会実現事業**」に挑戦し**経営資源を戦略的に投入**していくことで、**自らのビジネスモデルを大きく転換**させていく。
- 特に、**向こう5年間(2020～2024年度)は、「ビジネスモデル転換期」と位置づけ**、ありたい姿の実現に向けた取り組みを推進し、2025～2030年度における成長の加速につなげていく。



東北電力グループ経営理念 「地域社会との共栄」 東北電力グループスローガン 「より、そう、ちから。」

## 2. 事業環境変化 ～ ポストコロナの新たな時代

- 新型コロナウイルスの感染拡大は、電力需要の減少など東北電力グループに厳しい事業環境変化をもたらすとともに、経済・社会や人々の価値観、暮らし等に大きな影響を与え「よりそうnext」で認識していた「デジタル化」「分散化」「脱炭素化」に伴う電力需給構造の変化や人口減少に伴う社会課題の顕在化が一層加速していくことが想定される。
- そのため、「よりそうnext」の実現に向けた取り組みのスピードを一層高め、ポストコロナの新たな時代のお客さまの期待に応えるビジネスモデルへと早期に転換していく必要がある。



### 3. 2021年度東北電力グループ中期計画の力点

- 2021年は、「よりそうnext」実現に向けた“取り組みの加速”を主眼に、以下の事業推進の基本的な考え方を掲げ、抜本的な構造改革を通じた収益拡大と、ポストコロナの社会構造・事業構造変化を的確に捉えた成長につながる取り組みの早期の成果創出を目指す。

#### ■ 事業推進の基本的な考え方

##### **取り組みの加速** ～厳しい事業状況の克服とポストコロナの新たな時代を切り拓くために～

次の4つの事項について、東北電力グループ各社が、“イコールパートナー”との考え方のもと、各々の役割を果たしながら、グループ経営を一層推進することで取り組みを加速し、企業価値を向上させる

- ☑ ポストコロナを変革の契機と捉え、足もとの収益確保に向けた徹底した電力販売の強化とコストダウンの深掘りを行いながら、電力供給事業の構造改革のスピードのギアを上げ、早期の成果につなげる
- ☑ 安全を最優先に原子力発電所の再稼働に全力を尽くすとともに、地域の皆さまへの積極的な情報発信と丁寧な理解活動を行う
- ☑ リアルで培った強みと新たなデジタル技術を組合せ、デジタルトランスフォーメーションを成し遂げるべく、「東北電力フロンティア」を中核に、東北電力グループをあげてスマート社会実現事業の早期収益化に果敢に挑戦し実現する
- ☑ 「2050年カーボンニュートラル」に向けたあるべき姿の検討を進め、供給面のみならずスマート社会実現事業等を通じてお客さまのCO2排出削減に貢献する

### 3. 2021年度度東北電力グループ中期計画の力点

- 事業推進の基本的な考え方のもと、「電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化」、「スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦」、「企業価値創造を支える経営基盤の進化」の3つの力点を掲げ、経営を進める。

#### 力点

#### 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

電力供給事業は各機能のミッションに基づき機動的に事業を遂行するとともに、「送配電」の自律経営の定着により、構造改革を強かに推し進め、グループ総合力を追求しながら競争力向上と利益最大化を目指す

#### 力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

東北発の新たな時代のスマート社会をご提案する事業体制を強化し、サービス開発と提案力・販売力を高め、社会課題を解決するとともにポストコロナのお客さまニーズにお応えすることで、お客さまの豊かさの最大化と収益拡大に挑戦・実現する

#### 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

ESGを重視したグループ経営を一層推進し、レジリエンス強化や環境経営等に取り組むとともに、一人ひとりの意識・行動変革とポストコロナの新しい働き方の実践により、企業価値を創造し、自らがスマート社会実現の担い手となる

## 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

- 電力供給事業は、東北電力グループの基盤事業として、足もとからの持続的な収益確保に向けた徹底した電力販売の強化とコストダウンに取り組む。
- ポストコロナの需給構造変化も踏まえ、電力供給事業の各機能が各々のミッションに基づき、競争力の強化や、設備の安定稼働により、利益最大化を目指す事業モデルへの転換を目指していく。

### 発電・卸売

- 「発電・卸売」はコストダウンの一層の深掘りと現有設備の機能維持・向上を重点とする効率的・安定的な運用、戦略的な販売により、利益最大化を図っていく。

### 原子力発電

- ✓ 女川原子力発電所2号機は、新規規制基準への適合およびより高いレベルの安全確保に向けて、安全対策工事の実施、各種教育・訓練の充実化による運転に必要な技術力の継承・新たな設備への対応力の向上の取り組み等を通じたハード・ソフト両面の対策を着実に実施し、発電所の「審査・工事」から「安定運転」に向けたマインドシフトを進め、早期再稼働に全力を尽くす。また、当社の取り組みについて、地域の皆さまへの積極的な情報発信と丁寧な理解活動を行っていく。
- ✓ 東通原子力発電所1号機は、再稼働に向けて、安全対策工事を進めながら、適合性審査に的確に対応する。
- ✓ 女川原子力発電所3号機は、女川原子力発電所2号機の適合性審査等を踏まえながら、適合性審査申請に向けた検討を進める。
- ✓ 女川原子力発電所1号機は、廃止措置計画に基づき、引き続き安全確保を最優先に廃止措置に取り組むとともに、廃止措置の実施状況について地域の皆さまへの分かりやすい情報提供に努める。



安全対策工事が進む女川原子力発電所  
(フィルタ付格納容器ベント装置)



緊急時対応訓練  
(車両汚染確認)



原子力発電所を支える人材の育成  
(シミュレーター訓練)



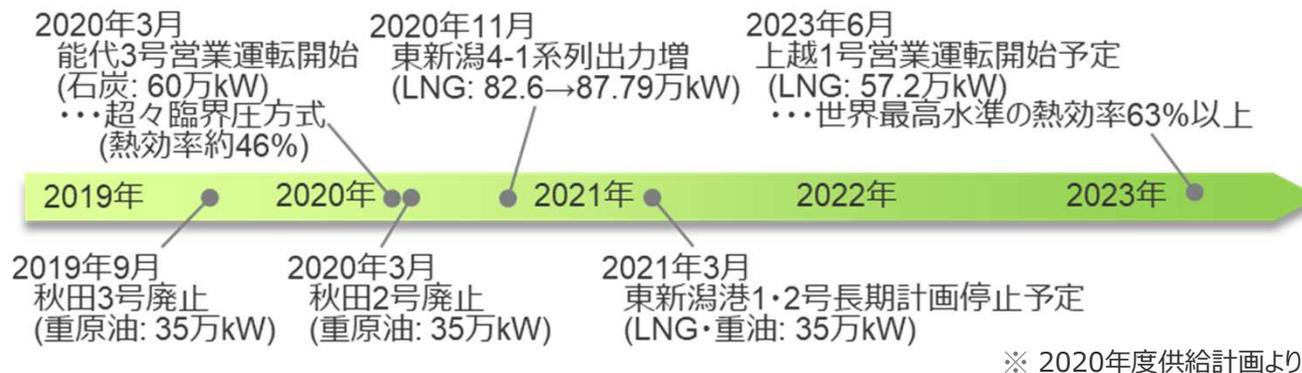
地域訪問活動  
(2019年12月の対面訪問活動)

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

## 発電・卸売

### 火力発電

- ✓ 世界最高水準の熱効率により燃料消費量とCO2排出量を削減し、高い経済性と環境負荷低減の両立を目指す上越火力発電所1号機の開発を推進する。あわせて、国の「第6次エネルギー基本計画」の策定等も踏まえながら、環境性や経済効率性の低い経年火力発電所の休廃止等を継続検討・実施し、さらなる電源の競争力の強化や再生可能エネルギー導入拡大に伴う需給変動への対応を進める。
- ✓ 発電所の運営体制についても、発電設備の休廃止等を見据えて効率化の検討を深掘りしていく。

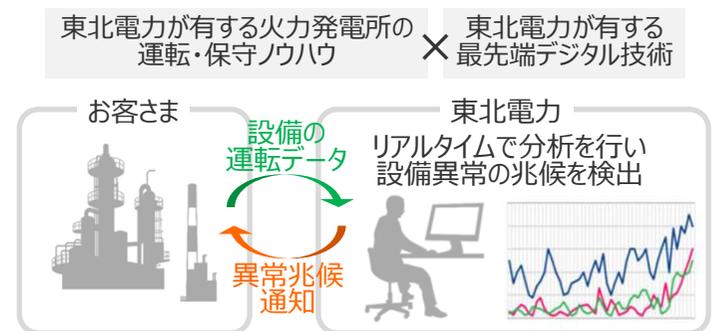


環境性や経済効率性に優れた電源構成へ



上越火力発電所1号機の建設工事の様子 (2021年1月現在)

- ✓ 発電所の運用高度化・効率化に向けて、ビッグデータ分析等の技術を活かした「異常兆候の早期発見」や「熱効率の向上」を図るシステムの運用に加え、ドローンやAI技術を活用した設備パトロールの自動化システムの開発・導入に取り組む。また、「異常兆候の早期発見」を図るシステムについては、自家用発電設備や製造業のお客さま向けの「高度な設備監視サービス」として2021年度内の事業化を目指す。



「高度な設備監視サービス」のイメージ

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

## 発電・卸売

### 再生可能エネルギー

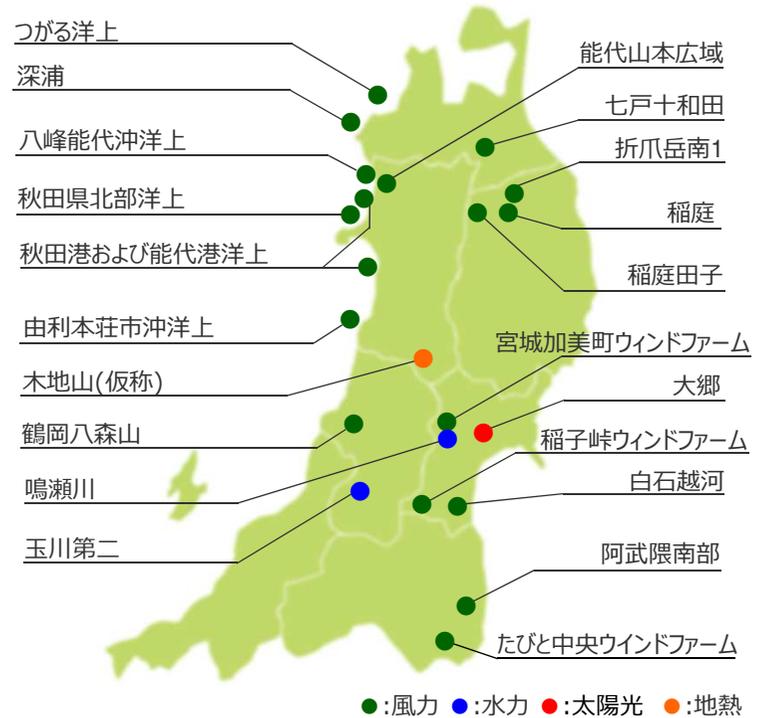
- ✓ 再生可能エネルギー発電については、将来の電源ポートフォリオの一翼を担う電源と位置づけており、東北6県および新潟県での**再生可能エネルギーの責任ある事業主体**となるべく、**風力発電を主軸**に、**水力発電、太陽光発電、地熱発電、バイオマス発電**を含めて、これまで当社グループが培ってきたノウハウを活用しながら、新たな開発や事業参画に取り組む。**東北6県・新潟県を中心に200万kWの開発**を目指し、経営資源を優先的に投入し続けるとともに、将来を見据えた新しい技術の研究開発や実証等にも取り組む。
- ✓ 当社創立以来、主力電源として開発・運用し、現在、227カ所を保有する**水力発電**に関しては、高経年化設備の抜本改修等を推進し、今後も活用し続ける。また、東北電力グループを挙げて、玉川第二発電所(山形県)等の開発を進める。
- ✓ **洋上風力**に関しては、再エネ海域利用法に基づき、秋田県能代市・三種町・男鹿市沖および秋田県由利本荘市沖(北側・南側)が「促進区域」に指定されたことに伴い、当社が出資参画する事業の公募による事業者選定に向けた取り組みを加速する。
- ✓ 東北エリアに開発ポテンシャルが多く存在する**地熱**については、木地山地熱発電所(仮称)の新設に向け着実に取り組む。



上空から望む玉川第二発電所の開発現場 (2020年8月現在)

- ✓ 再生可能エネルギーのライフサイクル全般に関する観点から、**運用・保守事業(O&M※)**を担う**新会社設立**に向けた検討を加速するとともに、グループ全体としての再生可能エネルギー事業推進体制を構築する。

※ O&M(Operation & Maintenance) : 発電設備の運用管理や保守点検業務



当社グループの主な再生可能エネルギーの開発・参画地点(開発可能性調査等も含む) (2021年2月現在)

※ 記載の21件が事業化された場合の持分出力としては約45万kW

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

## 発電・卸売

### 燃料調達

- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大を受け、燃料の生産・輸送・発電所受入の各業務におけるリスクの洗い出しや対応策の実施、調達ソースの多様化・分散化による燃料供給の途絶リスク低減等を通じ、継続して電力の安定供給を確保する。
- ✓ 燃料調達における市場の構造変化を捉えた調達手法の多様化など、**燃料費低減や燃料調達の柔軟性確保に向けた取り組みを深掘り**する。
- ✓ 市場での**トレーディング機能を最大限活用**しながら、**燃料調達から発電、卸売のバリューチェーンを最適化**する取り組みを進める。

### 電力卸売

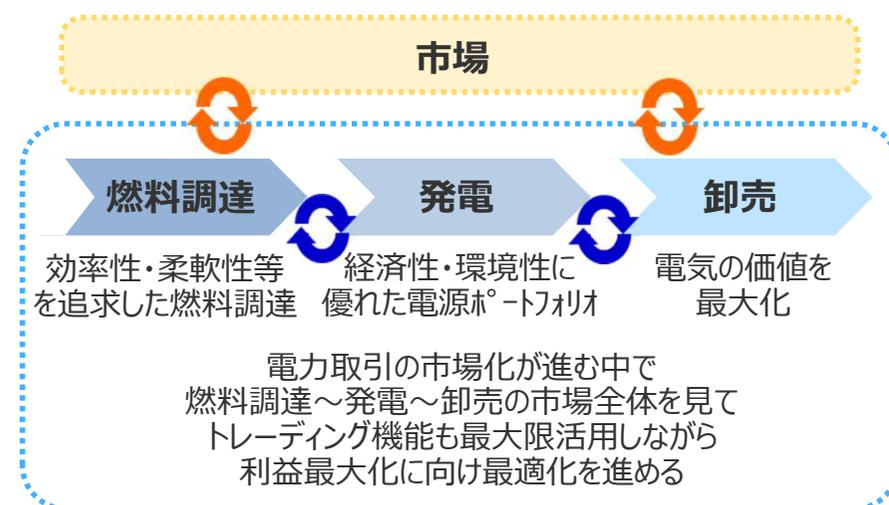
- ✓ 発電した電気の価値の最大化に向けて、**多様な電源ポートフォリオを活かした戦略的な販売**を進める。
- ✓ 電力の市場化を事業機会と捉え、**トレーディング機能を最大限活用**しながら、**電力卸売の付加価値向上に資するサービスを検討・推進**する。

### 海外事業

- ✓ 当社が出資参画しているインドネシア「ランタウ・デダップ地熱発電事業」や、ベトナム「ギソン2石炭火力発電事業」について、営業運転開始、安定稼働に向けて着実に取り組む。
- ✓ これまでの海外発電事業で培ったノウハウや人的ネットワーク等は、再生可能エネルギーの開発・参画や、スマート社会実現事業に最大限活用していく。



2022年度以降の運航開始を目指す硬翼帆式風力推進装置（windchallenger）搭載石炭船



燃料調達から発電、卸売のバリューチェーンを最適化する取り組みのイメージ

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

送配電



## 安定供給

- ✓ **設備の機能維持、高経年設備の計画的な更新**など安定供給に必要な設備投資を着実に実施するとともに、**設備の効率的な維持・運用**に取り組む。
- ✓ 自然災害の激甚化等の環境変化の中でも、**東北6県・新潟県の電力の安定供給の使命を果たし続ける**ため、以下を中心とする取り組みを進め、**レジリエンスを強化**する。

### 訓練等を通じた自然災害への対応力向上



### ドローン等を活用した被害状況の迅速な把握



### 自治体や関係機関との連携強化



自治体との協定締結

### お客さまへの情報発信強化 (停電情報アプリによるプッシュ通知など)



停電情報スマホアプリ

## 自律経営・さらなる効率化

- ✓ 一般送配電事業者として、法令やガイドラインに基づき、中立性・公平性を確保した事業運営を引き続き徹底する。
- ✓ 託送料金制度改革も見据えながら、**送配電設備の高経年化対策と、AI・IoT等の活用や設備の仕様統一・共同調達等による徹底的なコストダウンを両立**する。
- ✓ “買い方・買うモノ・買う量”に係る施策の深掘りや組織能力・体制強化など、**調達改革の取り組みを継続推進**する。
- ✓ 生産性倍増を目指した「**カイゼン活動**」として、職場の“**5S**”や、業務の“**ムダ取り**”を推進・徹底するとともに、**業務プロセスの抜本見直し**など最適な業務運営体制を追求する。

### 設備の仕様統一・共同調達



架空送電線 (ACSR/AC)



ガス遮断器 (66・77kV)



地中ケーブル (6kV CVT)

### 調達改革の取り組み

競争力強化に向けたさらなる施策の踏み込み

持続的効率化を可能にする組織能力・体制強化

“買い方・買うモノ・買う量”施策の深掘り  
サプライヤーの知見活用、新技術活用 など  
PDCAサイクル定着化、テキストブック拡充  
プロキュアメントアカデミーの拡大 など

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

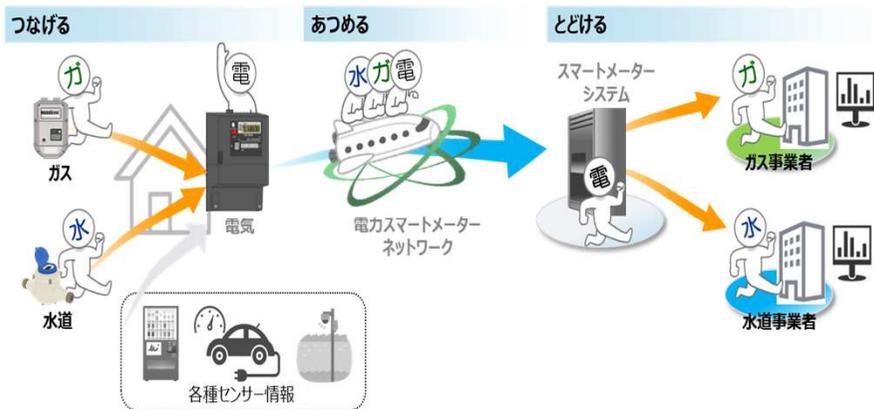
## 送配電



### スマート社会の実現に向けた電力ネットワークの高度化

- ✓ 保有するノウハウや技術・人材等をもとに、電柱・鉄塔など保有資産の有効活用や、スマートメーターの活用による共同検針の実証などにより、地域の課題解決に向けたサービスを検討・実施し、ネットワーク事業者ならではの強みを活かしながら新たな収益を獲得する。
- ✓ 再生可能エネルギー等の導入拡大が進み、電気の流れが双方向化していく中で、新たな技術も活用しながら、電力品質の確保と合理的な設備形成の両立を図る。

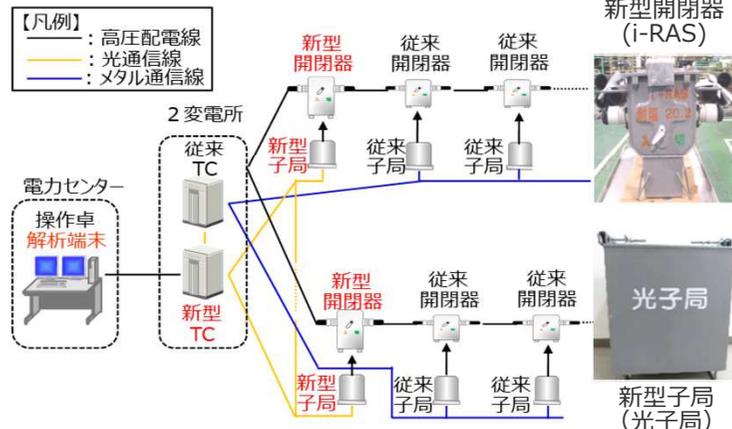
### スマートメーター通信システムを活用した「電気・ガス・水道共同検針」(事業化検討中)



### 次世代型の電力ネットワークへの転換

#### 【光ネットワーク対応型配電自動化試行導入】

変電所立上り第一柱を光ネットワーク化(高速大容量通信を実現)し、再エネ導入等で複雑化する配電線の潮流を短周期で計測



### 電柱等の送配電設備を活用したサービス



### 再生可能エネルギー導入拡大への対応

- ✓ 再生可能エネルギーの主力電源化の社会的要請に応えるため、電力広域的運営推進機関と連携し、「東北東京間連系線に関わる広域系統整備計画」や「東北北部エリア電源接続案件募集プロセス」など大規模基幹系統整備に確に対応する。
- ✓ 再生可能エネルギーの出力予測・推定技術の高度化や、水素エネルギーを活用した系統安定化検討等を推進する。

## カ点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

### スマート社会実現事業

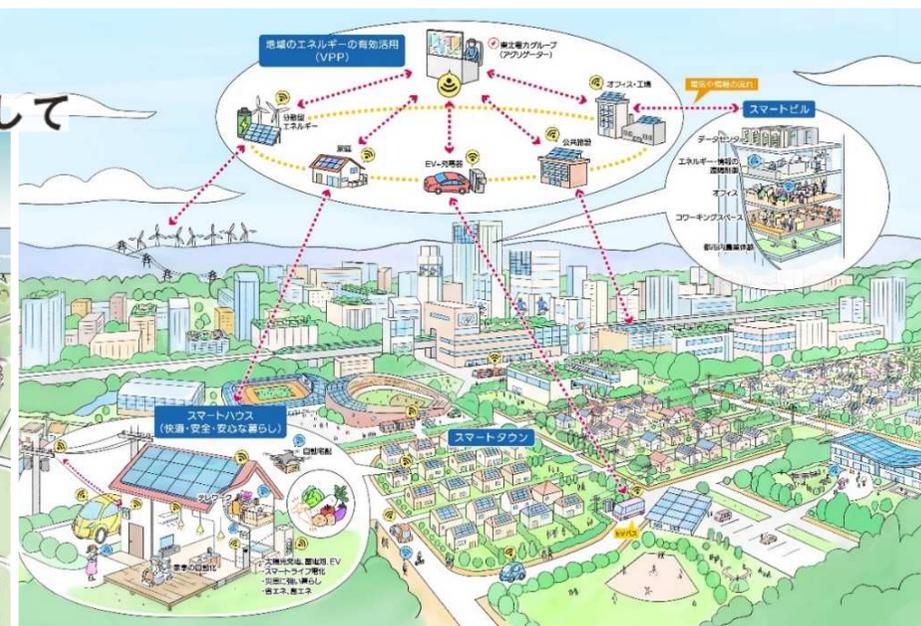
- 「電力小売を切り口に、快適・安全・安心に資するサービスを提供し、お客さまの豊かさの最大化にお役立ちする」とのミッションのもと、次世代のデジタル技術やイノベーションの活用等を通じて、お客さまのライフステージやビジネスニーズに着目したサービスを拡充し、エネルギーとサービスをトータルパッケージで提供することで、早期にお客さまの満足度や環境性の向上と、収益力強化の両立を目指す。

### スマート社会実現事業中核会社の設立

- ✓ スマート社会実現事業を牽引し、お客さま起点の新たなサービスを創出していくため、「**東北電力フロンティア株式会社**」を設立する（2021年4月設立予定）。
- ✓ 新会社では、次世代のデジタル技術やイノベーションの活用等を通じて、電気を含むエネルギーマネジメントをはじめ、地域に住む方々が快適・安全・安心に暮らすことができる**各種サービスを取り揃え、これらを組み合わせ提供**する。

[現時点で想定しているスマート社会のイメージ]

よりそう*next*東北発のスマート社会実現を目指して



## 力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

### ご家庭のお客さま向けのサービスの拡充と収益力強化

- ✓ 「より、そう、ちから。+ONE」のブランドのもと、ポストコロナのお客さまニーズも捉えた、暮らしをサポートするサービスの充実を加速する。
- ✓ エコでスマートな電化による暮らしの提案を推進する。
- ✓ おトクな料金プランの提案や「よりそうeねっと」の利便性向上によりお客さまの満足度をより高める。
- ✓ 「エコな暮らしプロジェクト」を通じ、CO2排出量の削減や環境負荷の低減に取り組む。

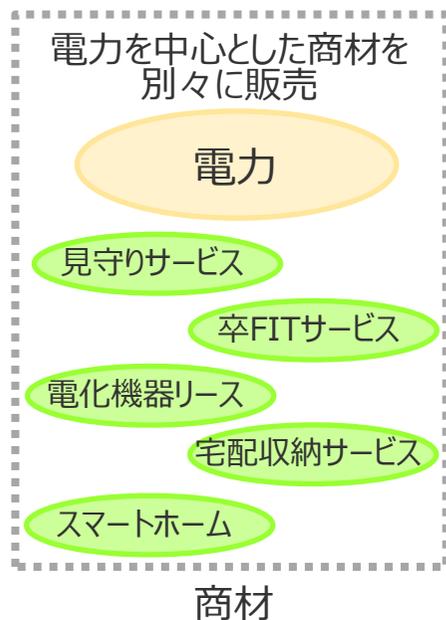
東北電力のくらしの  
トータルサービス **+ONE** より、そう、ちから。

### 全社を挙げた エコな暮らしのご提案推進

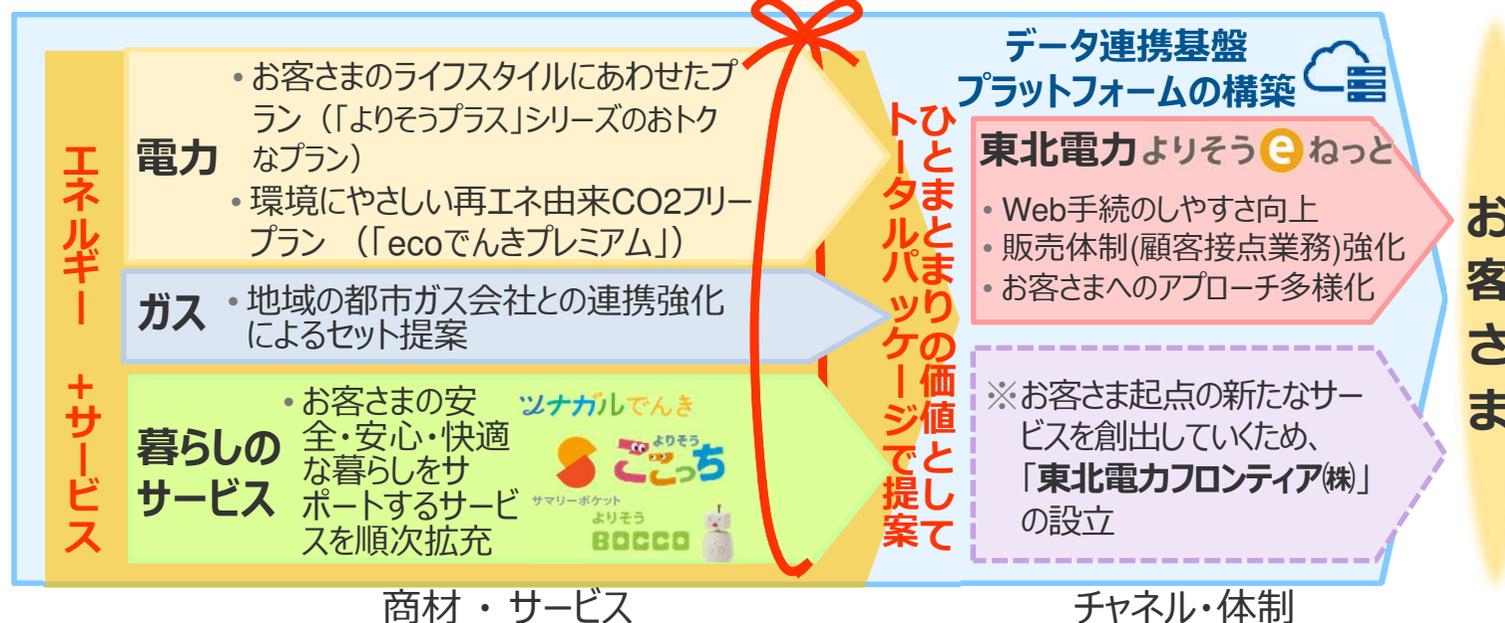


- ・再エネ由来CO2フリープラン「ecoでんきプレミアム」の提供
- ・検針結果お知らせのペーパーレス化
- ・ヒートポンプ機器の導入サポート（エコ替えキャンペーン）

### <これまで>



### <これから>



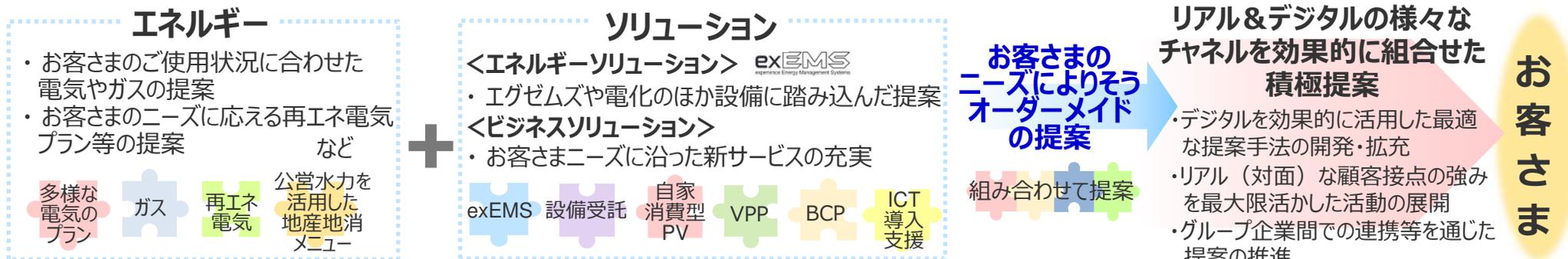
## 力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦



### スマート社会実現事業

#### 法人のお客さま向けの提案力強化とソリューション拡充による利益最大化

- ✓ お客さまのご使用状況や環境ニーズを踏まえた、エネルギーの最適プラン提案(電気、ガス、再エネ)を展開する。
- ✓ 当社独自のエネルギーマネジメントシステム「エグゼムズ(exEMS)」の提供や、空調熱源機を中心とする電化、空調設備の受託など、お客さまの設備に踏み込んだエネルギーソリューションサービスの充実化・積極提案に取り組む。
- ✓ ポストコロナのお客さまニーズを踏まえたICT機器導入支援サービスや、BCP関連サービスなど、新たなビジネスソリューションサービスを企業グループ内外のパートナーと連携しリリース・提案する。



#### ガス販売の収益拡大

- ✓ **都市ガス各社と連携した営業活動**により、潜在需要の掘り起こしを行い、**卸供給量を拡大**する。
- ✓ グループ企業間での連携等を通じ、他燃料からガスへの燃料転換に加え、サテライト設備等の受託などのソリューション提案を通じて、重要顧客獲得を図る。
- ✓ 電気とガスのセット販売の拡大に向けた都市ガス事業者との連携も進めるとともに、ガス小売全面自由化を踏まえ、ガス事業拡大に向けた検討を進める。



新仙台火力発電所のLNG出荷設備

カメイ (東北6県)	電気・ガスのセットプラン (2017年4月～)
石巻ガス (宮城県)	電力・ガス販売の業務提携 (2019年1月～)
にかほガス (秋田県)	「ガスでんきセットプラン」 (2020年5月～)

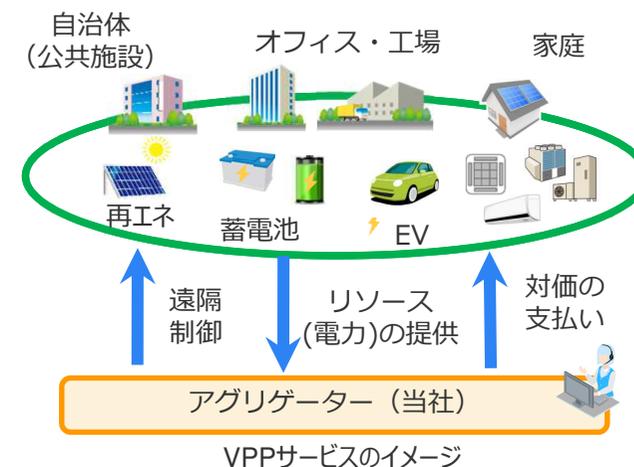
都市ガス事業者との連携状況 (2021年1月現在)

## カ点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

### スマート社会実現事業

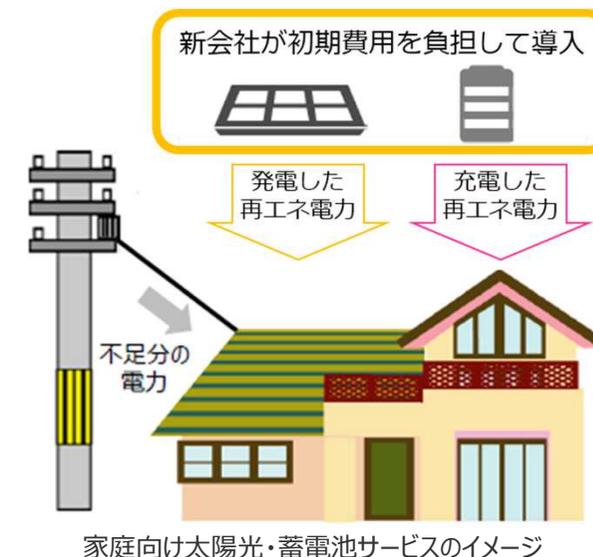
#### VPP(バーチャル・パワー・プラント)の事業化

- ✓ 太陽光発電設備や蓄電池、EVなど、地域に存在するエネルギーリソースを最大限活用し、地域の防災力強化や、お客さまの省エネルギー、省コストに役立つVPPサービスの早期事業化を目指し、**2021年度中にエネルギーマネジメントなどの一部サービスを開始**する。
- ✓ 世界最大規模のVPP事業者であるネクストクラフトベルケ社と、これまでの実証結果を踏まえ、新たなサービス開発の検討を進める。



#### 太陽光・蓄電池サービス新会社の設立

- ✓ 株式会社東急パワーサプライとの共同出資により、太陽光発電設備と蓄電池を活用したエネルギーサービスの提供を目的とした新会社「**東北電力ソーラーeチャージ株式会社**」を設立する。(2021年4月設立予定)
- ✓ 新会社が初期費用を負担し、お客さま宅に太陽光発電設備と蓄電池を無償設置。**環境にやさしく災害に強い電力をお手軽にご利用いただけるサービス**を提供する。
- ✓ サービスは、東北・新潟および関東エリアを対象に、2021年度上期中を目途に開始予定。



#### モビリティサービスの事業化

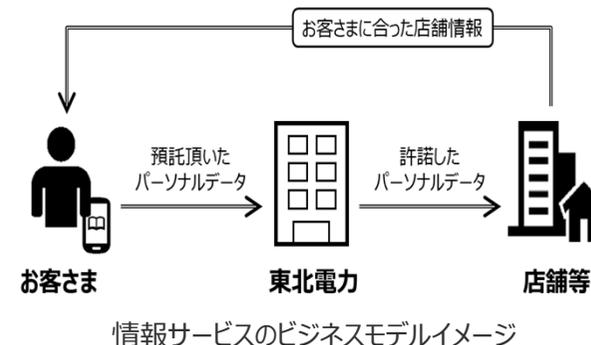
- ✓ ポストコロナのお客さまニーズの変化も踏まえた上で、**EV活用も視野に入れ、カーシェアリングサービス等の検討**を進める。

## カ点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

### スマート社会実現事業

#### 多様なデータを連携・活用し付加価値を生む情報サービスの事業化

- ✓ お客さまに預託頂いたパーソナルデータを中心とした情報の活用により、お客さまや店舗等の情報提供先への付加価値創出を目指す**情報サービス**について、**2021年度上期まで実証**を行った上で、ビジネスモデルの構築に取り組み、**2021年度内の事業開始**を目指す。



#### 地域の課題解決に資するサービスの推進

- ✓ 泉パークタウン第六住区東工区開発計画など、**地域のスマートシティやタウンマネジメント等の自治体・地域が抱える課題解決に資する案件に参画**し、東北電力グループならではの価値提供を行い、**経済的で環境にやさしく、災害に強いまちづくりに貢献**する。
- ✓ ポストコロナの社会変化を東北6県・新潟県の発展につなげるべく、**企業移転・産業立地への働きかけ**を進める。



泉パークタウン（仙台市泉区）

#### オープンイノベーションによる新規事業の創出加速

- ✓ ベンチャーキャピタルファンドである「グローバル・ブレイン7号ファンド」や「東北大学ベンチャーパートナーズ2号投資事業有限責任組合」への出資により、**東北発のスマート社会実現に向け、スタートアップ企業との効果的な連携・協働**を行う。
- ✓ 社内からスマート社会実現に関するビジネスアイデアの収集・評価を行う「ビジネスアイデア創出WG」の仕組みを活用し、**新規事業・サービスを創出**していく。



社内でのアイデアソンの様子

# 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

## 環境 (Environment)

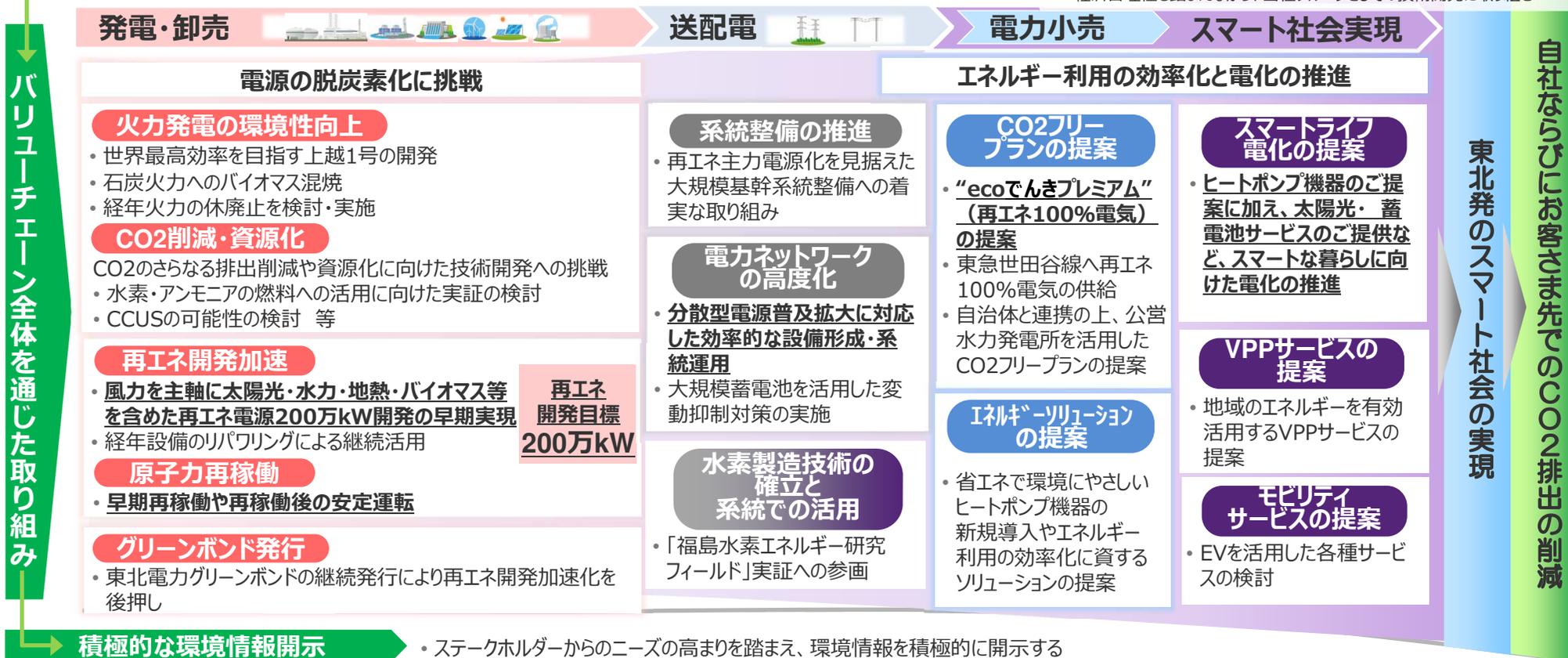
### 脱炭素化に向けた取り組みの推進

- ✓ **バリューチェーン全体でこれに資する取り組みを積極的に行うとともに、持続的なスマート社会を実現することにより東北・新潟地域全体のCO2排出削減に貢献する。**
- ✓ **東北電力グループとして「2050年カーボンニュートラル」を目指し、積極的に挑戦する。重点分野や具体策については、早期に公表し、その展開を図る。**

### 脱炭素化に向けた2021年度中期計画期間中の取り組み ～ バリューチェーン全体でCO2排出削減に貢献 ～

#### 気候変動リスクの的確な認識とマネジメント

※ 革新的技術開発には政策的・財政的な支援も必要であり、これらの状況や経済合理性も踏まえながら、当社グループとしての技術開発に取り組む



バリューチェーン全体を通じた取り組み

東北発のスマート社会の実現

自社ならびにお客さま先でのCO2排出の削減

#### 積極的な環境情報開示

・ステークホルダーからのニーズの高まりを踏まえ、環境情報を積極的に開示する

## 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

### 社会 (Social)

#### 安全最優先の企業文化の構築

- ✓ 「東北電力グループ安全・保安方針」を日々の行動に定着させ、経営層・グループ一体となって**安全最優先の企業文化を築き、“労働災害ゼロ”を目指す。**
- ✓ グループ大の連携を強化し、安全への取り組み状況や課題等を共有しながら安全確保に向けたPDCAサイクルを充実する。

#### レジリエンスの強化

- ✓ リスクが多様化する中で、自然災害やサイバーセキュリティなどに対して、危機の未然防止とともに、万一危機が発生した場合の被害を最小限に食い止めるため、日頃の訓練等を通じて対応力を高め、**レジリエンスを強化**する。
- ✓ 激甚化する自然災害に対しては、電力の安定供給の使命を果たし続けるため、訓練等を通じた自然災害への対応力向上やドローン等を活用した被害状況の迅速な把握、自治体や関係機関との連携強化、お客さまへの情報発信強化等を進める。
- ✓ サイバーセキュリティに対しては、サイバー攻撃などの予兆を検知し対処する監視体制(SOC)と万一被害が発生した場合の対応体制(SIRT)の充実を図り、監視機能およびインシデント対応力の向上を目指すとともに、グループ企業との連携強化を進める。

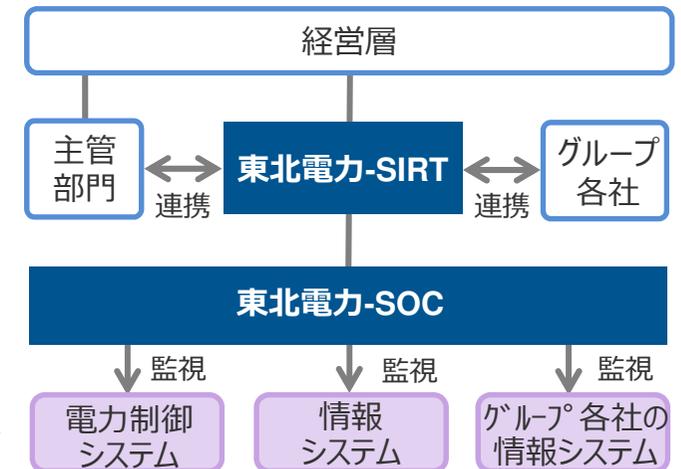
#### 地域の方々との協働による社会課題解決

- ✓ 「東北・新潟の活性化応援プログラム」や「まちづくり元気塾」等をベースに、**地域の方々とともに社会課題解決や地域活性化**に取り組み、東北発のスマート社会の実現に貢献する。

私たちは、「気づく・話す・直す」の3つの視点で、法令・ルールを遵守し、たゆまぬPDCA活動を行うことにより、継続的に安全と保安を確保することを決意し、東北電力グループ安全・保安方針を定める。

1. 常に安全確保を最優先に行動する。
2. 立ち止まる勇気を持つ。
3. 常に問い直し、問いかける習慣を持つ。
4. 自らの役割と責任を自覚し行動する。
5. コミュニケーションを常に心がけ、情報を共有する。

東北電力グループ安全・保安方針  
(2020年4月1日制定)



東北電力グループのサイバーセキュリティ体制  
※SIRT : Security Incident Response Team (セキュリティ事象対応体制)  
SOC : Security Operation Center (セキュリティ監視センター)

## 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

### 社会 (Social)

#### ポストコロナの新しい勤務スタイルの確立と働き方改革の実践

- ✓ 一人ひとりが意識・行動変革とポストコロナの新しい勤務スタイルにより働き方改革を実践し、自らがスマート社会実現の担い手となる。

#### <これまでの働き方改革>

「業務の削減・効率化」  
「ワーク・ライフ・バランスの実現」  
「業務品質の向上」の好循環により、みんながイキイキと働く元気な会社を実現し、お客さまや地域の皆さまに信頼され選ばれる会社を目指す

#### 東北電力グループの 働き方改革 “みな、おす、ちから。”

デジタル・オンラインを活用した  
“新しい働き方”を自ら実践し、  
東北発のスマート社会の実現につなげていく

#### <2020年の環境変化>

新型コロナウイルスの流行  
感染症や災害に備えた  
働き方を目指す

「よりsoxnext」の公表  
スマート社会実現の  
担い手たる働き方を目指す

#### “新しい 働き方”

- ✓ モバイルやビジネスチャットを活用したお客さまや設備への即応性のある働き方
- ✓ スケジュールが見える化し「働く時間」をより意識した働き方
- ✓ ペーパーレスを推進し、デジタル化をベースとした効率的な働き方
- ✓ フレックス、在宅勤務、現場からの直行直帰など、多様で効率的な働き方

スマート社会実現につながる  
“新しい働き方”を自ら実践



#### “新しい働き方”を 支える取り組み

従来の業務運営の  
大胆な見直しと  
業務断捨離の継続

“新しい働き方”に対応した  
人事・賃金・勤務制度の検討

ICT環境の整備

## 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

### 社会 (Social)

#### ダイバーシティの推進

- ✓ 多様化するお客さまニーズへの対応力を強化し、会社が成長を続けていくため、性別、年齢、職責、障がいの有無によらず、**多様な人材が能力を最大限発揮できる職場づくり**を進める。
- ✓ 育児期従業員対象の座談会やICT活用によるネットワークづくりの支援と女性管理職の育成支援・積極登用を進める。
- ✓ ワークライフバランスを組織全体の問題として捉え、**普通休暇取得率8割以上**の目標を掲げ全社で取り組んでいく。

#### 健康づくりの推進

- ✓ 「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」への認定も踏まえた中で「健康推進基本方針」を策定し、従業員一人ひとりの「こころ」と「からだ」両面にわたる健康づくりを推進し、**従業員の活力向上**等により企業価値の向上を図る。
- ✓ 新型コロナウイルスを始めとした感染防止対策を引き続き徹底し、**電力の安定供給と感染防止対策の両立**に努める。



性別・年齢にかかわらず  
イキイキと働ける職場づくりを推進

### ガバナンス (Governance)

#### グループ全従業員による「より、そう、ちから。」の体現

- ✓ ありたい姿の実現の基盤として、**東北電力グループ全従業員が、グループスローガン「より、そう、ちから。」に込められた思いを理解し、お客さま・地域に“よりそう”行動を日々実践**する。

#### コンプライアンスの徹底

- ✓ 「気づく・話す・直す」の基本姿勢のもと、「東北電力グループ企業倫理・法令遵守活動方針」に基づき、東北電力グループとしての一体感を持ちながらグループ各社が活動計画に基づく自律的活動を展開し、**従業員一人ひとりのコンプライアンスの実効性を一層高める**。



「より、そう、ちから。」の展開に向けた  
グループ各社間のコミュニケーション

## 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

### ガバナンス（Governance）

#### コーポレート・ガバナンスの強化

- ✓ コーポレート・ガバナンスに係る社会動向や社会的要請を十分に踏まえながら、送配電部門の分社化等を見据えて構築したガバナンス体制の定着とさらなる実効性の向上を図る。

#### ビジネスモデル転換を支える人材の発掘・育成

- ✓ 東北電力グループ内外の多様な人材を発掘・育成しながら、基盤事業の生産性向上に向けた取り組みを進めることで、成長事業の収益化に向けて活躍できる人材の配置を進める。
- ✓ 東北電力グループ大で変革を進めるリーダーとスペシャリストの育成に向け、課題に挑戦する変革マインドの醸成、デジタルイノベーション技術・手法の習得、東北電力グループ内での人事交流の加速等を進める。

#### 事業リスクへの対応

- ✓ 自然災害リスクや市場リスク、気候変動リスクなど、事業展開にあたってのリスクの統合管理を通じて、的確にリスクコントロールを行う。

#### 事業基盤としての情報システムの再構築

- ✓ 情報システムの“脱レガシー化”を推進し、スマート社会の実現に向けた事業領域の拡大とビジネスモデルの転換を加速する。

#### グループ経営の一層の推進

- ✓ “イコールパートナー”との考え方のもと、東北電力・東北電力ネットワークを含めたグループ各社の役割明確化と、グループワイドでの経営資源(ヒト・モノ・カネ)の最適配分を図りながら、グループ経営を一層推進し、総合力の発揮により、「よりそうnext」を早期に具現化し、東北電力グループ全体の企業価値を向上させていく。
- ✓ 各社は各々の期待役割と事業分野に沿って電力供給事業の競争力強化、スマート社会実現事業の早期収益化に取り組む。

## 4. 財務目標達成に向けた取り組みについて

### ■ 財務目標達成に向けた取り組みについて

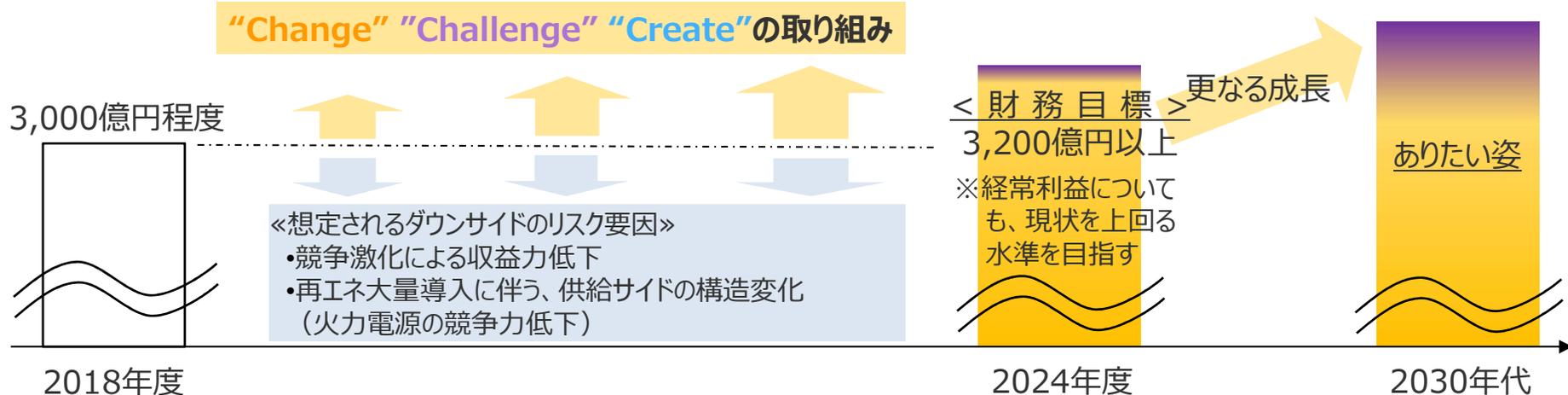
- ✓ 東北電力グループは、競争環境激化に対し、更なるキャッシュ創出力・利益を重視した販売戦略を推進しつつ、電力供給事業の構造改革を大胆に進め、変動費・固定費の双方で数百億円規模のコスト削減を実施し、財務目標を着実に達成する。

＜財務目標（連結キャッシュ利益※）の考え方＞ ※ 連結キャッシュ利益：営業利益＋減価償却費＋核燃料減損額＋持分法投資損益

- 「よりそうnext」の実現に向けて、現下の需給・収支の構造変化に伴う収益低下を抑止し、成長のための資源投入を加速するため、“キャッシュ創出力”に着目した指標として「連結キャッシュ利益」を財務目標に採用。
- 安定供給の維持ならびに新たな成長分野への投資や様々なステークホルダーへの支払い・還元に必要なキャッシュ水準をもとに、「2024年度に3,200億円以上」を達成すべき最低限の水準として設定。

### ＜財務規律・資本効率性の考え方＞

「よりそうnext」における考え方	
財務健全性	震災により毀損した自己資本（ストック）が一定程度回復したため、これまで目標としてきた連結自己資本比率に加え、負債返済能力（フロー）も考慮した指標である、連結有利子負債／キャッシュ利益倍率についても今後モニタリングしていく。
資本効率性	個々の投資の収益性や企業グループ全体の資本効率をモニタリングし、電気事業の収益性確保と資源シフトによる成長事業の早期収益化を図り、投下資本に対するリターン向上を目指す



私たち東北電力グループは、2021年5月に創立70周年を迎えます。  
70年の感謝の気持ちを含め、これまで以上に、お客さま・地域社会に“よりそう”取り組みを通じて、  
東北発の新たな時代のスマート社会の実現を目指します。

## より、そう、ちから。

東北電力グループだからお役に立てる、より浴う力。

それは、お客さまひとりひとりを見つめ  
ライフスタイルに合った  
快適な暮らしを提案していくこと。

そして、これからも地域に、寄り添う力。  
それは、創立以来の変わらない想いを胸に  
地域とともに発展しつづけること。

心からの感謝の気持ちと  
大きなこころざしを持って  
ひとりひとりへ、そして地域へ。

私たちは、皆さまのお力となれるよう、  
取り組んでまいります。



 より、そう、ちから。  
東北電力グループ

  
Anniversary 2021